



せがさきの風



〒236-0037 横浜市金沢区六浦東三丁目 2 番 1 号
 <TEL>781-2446・2447 <FAX>701-4892
 <MAIL> y3segasa@edu.city.yokohama.jp
 <HP> <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/segasaki/>

希望と愛の花が咲く～♪

学校長 大塚 ちあり

瀬小の校歌の二番に、こんな歌詞があります。

「希望と愛の花が咲く～♪、ここは横浜～♪瀬ヶ崎小学校」

子どもたちが、自分自身に希望をもち、その希望に花を咲かせることができる学び舎。地域の方々や保護者の方々、教職員のたくさんの愛に包まれて子どもたち自身が愛の花を咲かせることができる学び舎。それが、ここ瀬ヶ崎小学校なのです。という、校歌を創りあげた当時の方々の熱い願いが伝わってきます。

そして、この校歌は60年脈々と歌い継がれ、歌詞に込められた熱い願いも「今」瀬小につながる子どもたちやたくさんの方々を受け継がれています。

私たち教職員も、この校歌の願いに自分たちの願いを重ねて、まずは、始業式からの三日間を大切に過ごそうと、気持ちをそろえて取り組みました。

- ・明るく楽しく元気よく！先生たちが自分の持ち味を發揮して自己紹介！子どもたちが、自己紹介や頑張る宣言等をするときのロールモデルになるように。
- ・「こんな学年こんなクラスに！したい。」先生たちが自分の思いを、熱くわかりやすく発表！子どもたちに伝わるように。子どもたち自身が、「こんな力を伸ばしたい。」「こんなクラスにしたい。」と希望を語れるように。
- ・三日の間に学年集会を開催！子どもたち同士が出会い、楽しい時間を共に過ごし、仲間意識が生まれるように。
- ・気持ちよく生活するためのきまりをしっかりと相談！皆で決めたことは皆で守れるように。

子どもたち自身が、「なんだか楽しそうぞ！」と、新しい学年に、新しい自分に、希望がもてるような楽しい出会いと学びの場を、それぞれの学年が工夫してつくりあげていました。

「希望と愛の花が咲く～♪」そんな、瀬小で子どもたちは6年間を過ごし、下学年が憧れる6年生に成長します。その証拠に、先日6年生が児童朝会で、素敵な姿を見せてくれました。

11の委員会の委員長（全て6年生）が体育館のステージで、自己紹介と委員長として「こんな委員会をつくりたい！」と自分の希望を、声高らかに宣言しました。全校児童の前で、たった一人で校歌を歌ったりサッカーのリフティングをしたりバットで素振りをしてしながら給食への熱意を語ったり、マントに帽子の衣装を着てブックマン4代目を宣言したり、自作の大きな絵や天気予報を披露したり、じょうろを持ったり水石鹸を持って歌ったり、バトンを巧みに回したり、たすきをかけたり天使の羽をつけたりして、自分の持ち味を活かして演技を交えた立派な宣言でした。どんな委員会で、どんなことをやりたいのか、1年生が見てもわかるようなインパクトのある、わかりやすい発表でした。

その姿に、下学年の子どもたちの目は釘づけでした。「6年生って、すごい！」まさに、新6年生が下学年の子どもたちの憧れになった瞬間のように思えました。6年生になったら、大勢の人たちの前で、堂々と話をしたり演技をしたりできるんだ。自分も6年生になったらやれるかもしれない。という希望を抱いたようにも見えました。6年生に聞いてみたら、「すごくドキドキしたけれど、自分の決意を伝えるセリフや動きがしっかりできて、嬉しかった。」「見ていた人たちが皆たくさん反応してくれてよかった。」と努力して得た達成感を味わっていました。また、全6年生の拍手による応援にも力が入っていて、みんなの希望が膨らんだ6年生の持ち味全開の集会でした。

自分に希望をもてるということは、自分を大切に思う心が育っているということです。自分を大切にしつつ、他の人も大切にできる人に育つために、どの子の自尊感情も豊かに育てたいものです。

今年も427名の子どもたちが様々な希望をもち、その一つひとつの希望に花が咲くように、実を結ぶように、地域の皆様や保護者の皆様にご支援ご協力を頂きながら、私たち教職員も希望をもって教育活動に励みたいと思います。